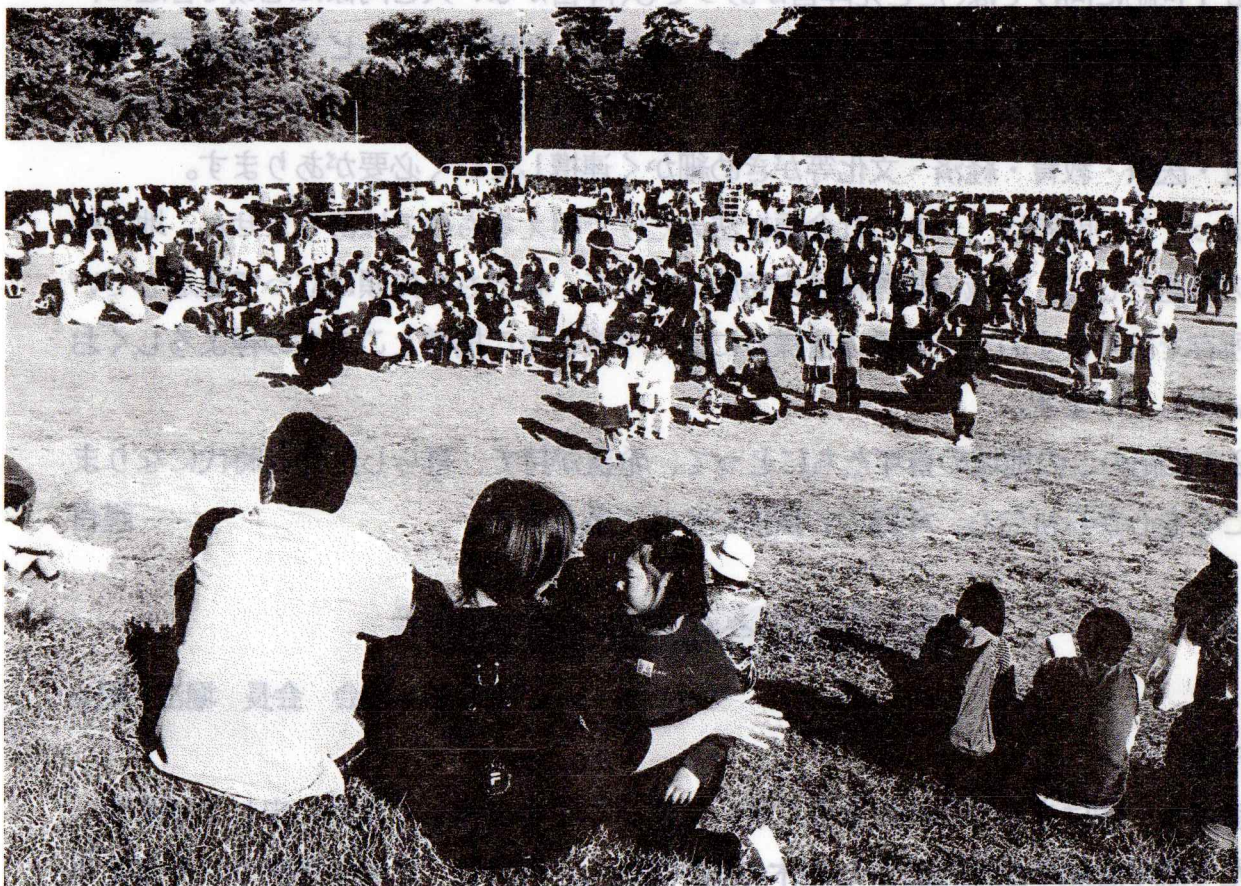


ひとりひとりひかる

きぼう

2001 1/1
第23号

発行 かしの木 事務局 尾西市富田字砂原 2147 番地 E-mail:kasisato@f7.dion.ne.jp



▲家族連れで賑わう「榎の木20周年記念フェスティバル」

【23号きぼうの目次】

📷 写真は、昨秋11月5日(日)に木曾川堤防近く、かしの木の里の南に位置する広場で行われたもの。近隣の社会福祉施設も参加して、作業で作った製品の販売や模擬店のテントが並ぶ。

秋晴れに恵まれ、たくさんの人達が、太鼓・踊り・人形劇・手品・展示会・喫茶コーナーなどの催しの中、集い、お互いにふれあうことができました。

表紙：写真 ————— P1

21世紀、希望の年に向かって ————— P2

かしの木さんとボランティア ————— P3

2000 福祉フェスティバルびさい、盛り上がる — P4

こんにちわ、どんぐりの会です ————— P5・6

榎の木園スタッフ紹介 ————— P7

文芸コーナー：映画で観るお付き合いの仕方 — P8・9

お知らせコーナー ————— P10



謹啓

21世紀、希望の年に向かって

社会福祉法人 榎の木福祉会 理事長 岡田 春雄

皆様方には新しい年を無事お迎えになり、心よりお慶び申し上げます。また、平素は私どもが地域に展開しております障害者福祉事業に対して、格別なるご理解とご尽力を賜わり、衷心より厚くお礼申し上げます。

21世紀に向けては、たとえ障害があっても、障害がない人と同様に地域で普通に、豊かに暮らせることが求められています。そして、利用者がサービスを選択できる時代を迎えるためには、要求に応えるメニューを用意しなければなりません。これは、福祉・医療・教育・経済・文化等がきめ細かく連携していく必要があります。

従ってこの問題は、一介の社会福祉法人だけで担えるものではありません。地域社会の問題として、地域の障害福祉の発展に向けて、私どもも先頭に立って邁進していく所存でありますので、関係の皆様方には、今後ともご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

21世紀のこの地域の青年たちにとって、希望が持て、暮らし豊かな時代になりますことを心から祈念し、年頭のご挨拶にさせて戴きます。 謹白

支え合い、今年もがんばるぞ！

かしの木の会 会長 堀江 昭夫

拝啓

皆さん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。私たち親の念願の生活施設かしの木の里が開所し、同時に「この子等の幸せを考える親の会」が「かしの木の会」に生まれ変わってから、初めての新年を迎えることが出来ました。これも、ひとえに地元の皆様やボランティア、尾西市をはじめとする行政、福祉関係各位の一方ならぬお骨折りの賜と、改めて心からお礼申し上げます。

さて、地域の障害を持つ人のうち、養護学校卒業後の進路の問題、不況で解雇された青年の就職問題、重症の障害を持ちながら在宅で苦勞している人の生活問題、施設利用はしているものの、他に地域に出掛ける先が乏しいことの問題や、自立のためグループホームで生活したいと希望を持つ人の問題等々、問題は山積しております。私たちは一人一人の問題を会の問題とし、希望をもって、皆で支え合いながら、先頭に立って頑張ろうではありませんか。 敬具

かしの木さんでボランティア

尾西市社会福祉協議会から、かしの木フェスティバルのお手伝いをというご案内が届いたとき、「はい、行きます」と二つ返事で行くことにしました。

ボランティアは「できる人が、できる時に、無理なく」を常日頃モットーにしていますが、やはり特定の催しに力が入るのは仕方ないと思っています。

夏の盆踊りでみたらしを焼かせていただき、その雰囲気の良いこと。お手伝いさせていただいている自分も楽しめました。そんな気持ちからフェスティバルも期待していきました。

当日は天気も良く、聞くところによると予想を大きく上回る、1200人以上の参加で売切れの店も続出とか。スタッフの皆さんの企画や宣伝が良かったんだろうと思いました。

私はテントなどの後片づけのお手伝いをするというので、午後グラウンドに到着しましたが、少し早かったので、模擬店を見て回りましたが、皆さんテキパキとそれぞれのお手伝いをされていました。

かしの木の里の中の喫茶コーナーでは、入寮者やボランティアの女の子達が販売していて、そのガンバリがほほえましく思えました。周りを見回して、空いた席への誘導も上手でした。

テントや机・イスの片づけは数も多く大変でしたが、皆さん誰が言う訳でもないのに手分けして、声を出し合い片づけが出来ました。すがすがしい汗をかくことが出来ました。皆さんと一緒に秋の一日を有意義にすごすことが出来ました。また、機会があればお手伝いをさせていただきたいと思います。



(ボランティア 鈴木)

フェス後、テント片づけに、すがすがしい汗

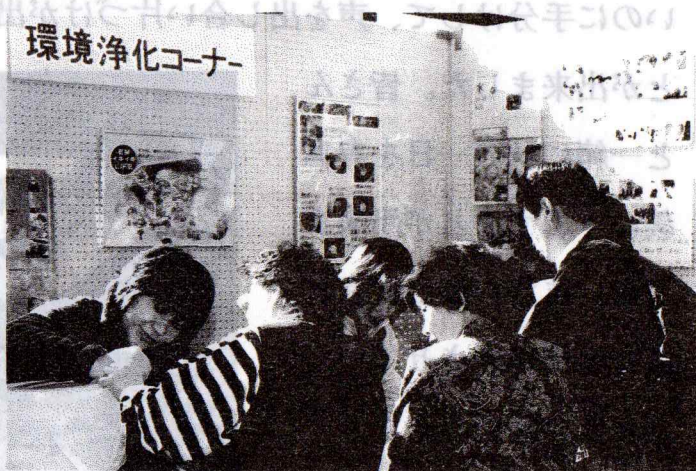
2000福祉フェスティバルびさい、盛り上がる

福祉フェスティバルびさいは、「思いやりのある、豊かな福祉のまちづくり」を目標にして、健常者も障害者も市民の一人として、お互いにであい・ふれあい・おもいやりを育み、ボランティア活動を広げていこうというもので第9回目が行われました。尾西市民会館ホールでは、福祉コーナーとして、ホームヘルパーコーナーなど27の福祉団体及び協力団体の活動紹介が行なわれ、いろいろなことを知ることができたと思います。ステージでは感謝状贈呈、福祉作文朗読、ロックバンド演奏などが行なわれ、出演した人も会場の皆さんも楽しむことができたと思います。市役所西駐車場では、うどん、みたらしなど6種類の模擬店コーナーで、活気にあふれ、行列ができていました。

福祉コーナーのひとつに、環境浄化を進める会尾西では、ボカシ、廃油石けんの普及のコーナーがありました。環境問題には市民の関心も高く、説明を求める人がたくさんいました。なるべく生ゴミは肥料に活用していくことはとても大切なことだと思います。そして私たち市民一人一人がゴミはなるべく作らず、郷土の美しい環境を大切にしていきたいですね。

ステージのひとつに、今年4月に開所したばかりのかしの木の里の施設利用者の皆さんと、安美&コンプリオのバンドの皆さんとがステージに立つことができました。最後の曲「慎吾ママのオハロック」では、会場から幼児が10人近くステージに上がり、総勢70人程となり相当盛り上がりました。会場の皆さんから温かい声援があり、ステージの皆さんは緊張しながらも、笑顔いっぱいになり、リズムをとったり、踊っていました。参加者の皆さん、ありがとうございました。

福祉フェスティバルびさいも、福祉団体及び関係団体の会員さんやハンディを持つ当事者自身の意見をもっと取り入れ、当事者自身が多数楽しく参加できるように進められていくことが大切だと思いました。それから、イベントの時だけでなく、少しずつ、日頃から各団体が交流していけたらいいと思いました。最後に、多数のスタッフ、ボランティアの皆さん、どうもご苦労様でした。



(福祉フェスティバルびさい実行委員)

環境浄化コーナーの光景

こんにちは、どんぐりの会です

《ハチビハットマエてお辭》。式Jまじりばり目冊るや手合ましきやるご「式c
ハンディのある子と共に、地域の中で安心して暮らして行きたいという願いの
味ごせJせよしはきやるごのいちりうみよあ」なせまじりばりハハアサち赤頭が
もとに、どんぐりの会は平成6年に発足しました。

現在会員23名。在学中の障害児を抱える親達を中心となって始まったこの会
も、今では就学前のお子さんから学校を卒業して地域の福祉施設に通所する人、
又一般就職した人など様々です。

子ども達の障害の程度も様々で、身体的にも知的にも軽い人から重い人までい
ろいろです。障害の種類に関係なく集い会ったこの会だからこそ、お互いの子ども
達のことを理解し合えるようにもなりました。

障害児を抱える親にとって一番の悩みは子ども達の将来のことです。学校卒業
後、就職先があるだろうか、通える施設はあるだろうか・・・と。地域にある作業
所等の見学をしたり、学習会を開いたり、バザーをしたり・・・と親達は必死です。

今学校に通っている子ども達もいずれは、地域の中でお世話になります。



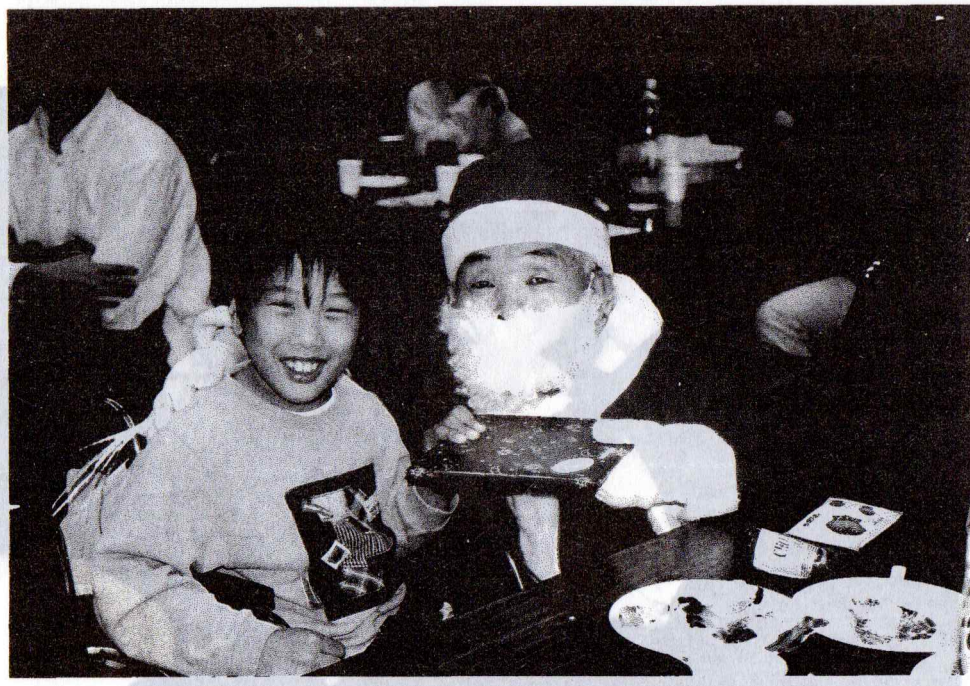
★2000年3月 人形劇を見て、思わず アッハッハ!!

その時のために少しでも障害者のことを知って頂こうと、親達の日頃の思いを綴った「つぶやき」も今年で5冊目となりました。《福祉フェスティバルびさい》の「つぶやき」も今年で5冊目となりました。《福祉フェスティバルびさい》で配布させて頂いておりますが、「あぁどんぐりさんのつぶやきね」と少しずつ知ってくださる方もみえ、嬉しい限りです。又、子ども達のお楽しみとして『人形を見る会』と『クリスマス会』を行なっています。

先日の12月3日、市内にある南部公民館の一室をお借りして、今年もクリスマス会をしました。子ども達はボランティアさんのして下さる手品に目を見張り、生バンド演奏の音に合わせて一緒に体を動かしたり、大好きな「お話」にはさすがにじっと聞き入ったりと、楽しいひとときを過ごすことができました。サンタさんからのプレゼントには思わずにっこり笑いがこぼれました。

この笑いが消えることのないよう、親として支えていきたいと思ひます。

皆様のあたたかい、ご支援をこれからもよろしくお願ひします。



サンタさんからプレゼントをもらって、思わずニッコリ☆★

園の木園

スタッフ紹介



園長 只井 長秀明



厨房職員 堀 葉子



第1作業室 指導員 瓜生 泰



第1作業室 指導員 南崎 一美



厨房職員 平田 邦代



第1作業室 指導員 中井 一成



第2作業室 指導員 伊藤 慎吾



第1作業室 補助職員 北条まゆみ



第1作業室 補助職員 浅野 敦子



第1作業室 指導員 夏井 幸広



第2作業室 指導員 内海 孝嗣



事務員 渡辺 和美



第2作業室 指導員 鈴木千鶴子

文芸コーナー

映画で観るお付き合いの仕方

とても感動する映画に出会えることがあります。映画の一場面がいつまでも心に残り、今の自分に訴えてくることもあります。私たち、施設の職員が映画を観て何か感じるものがもてたら…(もちろん、保護者の方々も)と思って映画を紹介しましょう。まず、『レインマン』は有名です。主演のダスティー・ホフマンの演技には頭が下がります。適当に涙を誘う場面もあります。しかし、脚色されすぎていて、所詮はドラマだなという批評になってしまいます。題名も、何か違和感を持ってしまいそうですね。同じような違和感のある題名の作品として、『エレファントマン』があります。これは『レインマン』とは逆で、脚色されていないくて、不快感まで出てきます。白黒の画面も、臨場感を出したつもりだと思いますが、かえってホラー的な要素まで醸し出しています。あまり、これらの作品はおすすめしがたいですね。

そこで、一押しの映画を紹介します。『カッコーの巣の上で』です。これは、人間の自由と尊厳をテーマに、一人の男の悲劇を描いた映画です。ハンディキャップを持った一人の患者が、病院の主任看護婦から無気力に管理されている患者たちを生き返らせる内容なのですが・・・とても悲劇なのです。見ている私たちの期待を、病院や看護婦が裏切って、裏切ってストーリーが進みます。主人公のあり方、他の患者との接し方は、施設で働く私たちに語りかけるものがいっぱいあります。反対に、病院や主任看護婦の姿勢には、嫌悪感がいっぱい。そこまでするのか?と画面を叩きたくなります。もう涙・涙・涙です。この俳優は、『シャイニング』や『バットマン』にも出演し、独特な演技で魅力のある俳優です。患者と医者との心の触れ合い、葛藤を描いた作品を紹介しましょう。一つは『レナードの朝』です。そして、もう一

つの作品からは『パッチアダムス』です。この両方の作品の主演は、ロビンウィリアムズ。すばらしい俳優です。本当に感動を与える映画を何本も撮っています。『レナードの朝』は、半昏睡状態の難病に苦しむレナードという患者に、治療を施して、30年ぶりに覚醒されるという内容のもの。無邪気にはしゃぎ回る患者の目の輝きが心を打ちます。そして、医者のある方も私たちの心に問いかけてきます。『パッチアダムス』は、どのような患者でも、笑い笑顔で少しは快方に向かうであろうと考える医者のお話です。コメディタッチではありますが、医者とは何か？患者とは何か？を問いかけてきて、そこに心の触れ合い・友情・信頼関係がないと、一つの大きな課題（治療）がこなせないと訴えかけてきます。

その他の作品では、ウィリアムハートが演じる『ドクター』も、私たちが勉強できる映画です。名声のある心臓外科医がガンの宣告を受けて、初めて患者の立場を知り、人間の尊厳とは何かを知るというものです。本当に考えさせられます。少し変わったところでは、フォレスト・ガンプ（一期一会）も観ておきましょう。ピュアな心を持つ主人公の生きざまにも感動します。

ご家庭でも、職場でも忙しいと思いますが、たまには、映画などを見て心のリフレッシュといきましょう。内容は重たいものもありますが・・・。

さあ、レンタルビデオ店へ直行しよう。

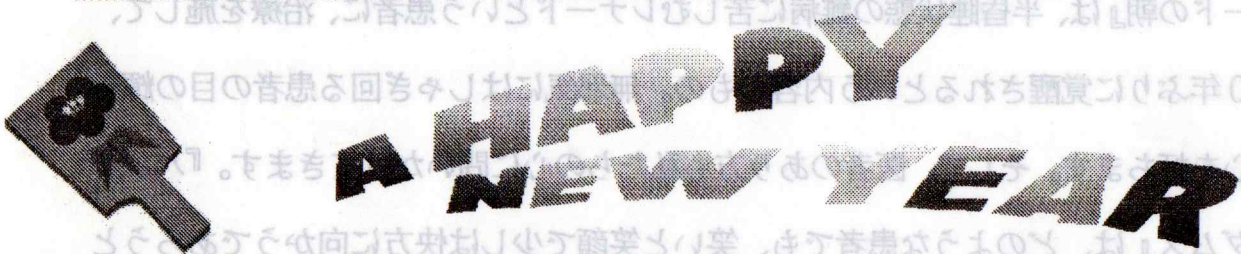
(かしの木の会員)



「カッコーの巣の上で」の一場面

お知らせコーナー

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。



1月15日(月) 手芸製作会(場所:南部公民館)/主催 かしの木の会

1月22日(月) 手芸製作会(場所:南部公民館)/主催 かしの木の会

1月30日(火)~2月4日(日) 第21回障害者作品即売会

福祉の店 [松坂屋本店7階特別会場]

/事務局 社団法人 愛知県授産事業振興センター



2月04日(日) 第14回障害者とボランティアのふれあいボーリング大会

/主催 尾西市社会福祉協議会

2月27日(火) 学習会(場所:南部公民館)/主催 かしの木の会

3月04日(日) 尾西市ボランティア連絡会 /主催 尾西市社会福祉協議会

3月18日(日) いずみ祭り /主催 いずみ作業所

※ 手芸製作会(かしの木の会 主催)は、いずれも9:30~15:00までです。

尚、手芸品 かしの木の里自主製品を、里施設内にて販売しております。

お立寄りの際はどうぞご覧下さい。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147番地 かしの木の里内

Tel 0586-63-2111 Fax 0586-61-1200

檜の木福祉会 ☆檜の木作業所 尾西市富田字漆畑 16番地 Tel 0586-61-6055

☆檜の木園 尾西市富田字若宮 17番地 Tel 0586-62-8202

☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel 0586-63-2111